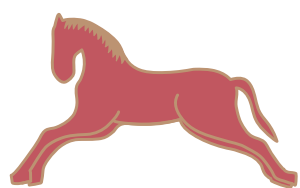


2026



新年 あけましておめでとうございます

2025 年は前向きな動きや明るい話題が多く、社会が少しずつ前進していることを感じられる一年となりました。その流れを受け、2026 年が穏やかで実りある年になることを願っています。

新年最初の OpenTalkS! では、代表・田中の新年挨拶インタビューと、1 月より新たにセンター長に就任した、新砂センターの涌井センター長、堀江センターの中野センター長のインタビュー特集をお届けします。

❀ 代表挨拶

まずは、弊社サービスをご利用いただいているお客様へ、昨年一年間にわたる格別のご愛顧に心より御礼申し上げます。日々変化する環境の中で、私たち OTS が事業を継続し、新たな挑戦を重ねてくれましたのは、ひとえにお客様からのご支援とご信頼の賜物です。

物流に求められる役割が高度化する中、数ある選択肢の中から OTS をお選びいただき、ともに歩んでいただきましたことに深く感謝しております。皆さまから寄せられるご期待やお声を励みに、一つひとつの業務に真摯に向き合っておりまいた。改めまして、この一年間のご厚情に心より感謝申し上げます。

❀【豊】の文字に込めた思いを教えてください

2025 年は政治の動きにも大きな変化が見られ、積極財政へと舵を切る動きが進みました。また、働く人々にとっては「178 万円の年収の壁」や最低賃金の上昇など、生活や働き方に直結する変化のあった一年でもありました。

ここ数年の日本社会には、どこか停滞感や足踏みしているような重い空気が漂っていたように思います。現時点では、経済政策が实体经济に本格的な影響を及ぼす段階には至っていないかもしれませんが、政治が動き、社会も少しずつ動き始めている中で、「これから日本は豊かになっていくのではないか」という前向きな思いが、私自身を含め多くの人々の間に芽生え始めていると感じています。

そうした想いが一時的な期待にとどまらず、現実の豊かさとして実を結んでいくことを願い、本年はこの言葉を綴らせていただきました。

❀ 2026 年はどんな年になりそうですか？

豊かさの話の続きになりますが、私たちが携わっているファッションは、まさに豊かさの象徴ではないかと考えています。日々の生活を少し上質に彩り、自分らしさを表現する——そうした役割は、ファッションならではのものではないでしょうか。

世の中がより良い方向へ進み、ファッション業界が活気づいていけば、それを物流の面から支える私たちの役割や重要性も、ますます高まっていくものと考えています。

今後もお客様のご要望に高い品質でお応えできるよう、ブランド・ビジネス・サポーターとして、2026 年もさらなる進化を目指してまいります。



代表取締役 田中優一郎

The OpenTalkS Jun.2026 Vol.191



新砂センター長 涌井利典



❀センター長就任の意気込みを教えてください

この年になって改めて感じるのは、会社がこれまで良い状態で続いたのも、諸先輩方の思いやご活躍があってこそだということです。

自分の役目としては、そうした OTS のあるべき姿や大切にしてきた良い部分を壊すことなく、今後も会社が継続していけるよう、改善や若手の育成などを通じて、センターの基盤づくりにしっかりと取り組んでいきたいと考えています。



❀センターの若いスタッフに臨むことは何ですか？

私自身、若い頃には多くの失敗を重ね、その中でさまざまなことを学ばせていただきました。今は失敗が許されにくい世の中ではありますが、自分の可能性を信じ、さまざまなことに挑戦していただきたいと思っています。

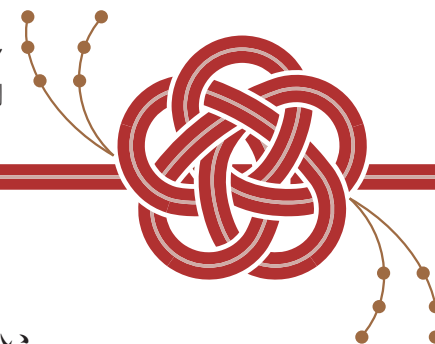
もちろん、挑戦にはリスクが伴います。そのため私の役割は、チャレンジに対するサポートやフォローを最大限行い、誰もが挑戦しやすい環境を整えていくことだと考えています。

❀【公】の文字に込めた思いを教えてください

公平さや公正さを大切にしたいという思いから、この文字を選びました。

若い頃は、相手とのフィーリングの合う・合わないで仕事を進めてしまうことも多く、その結果、数多くの失敗を経験してきました。

そうした過去の自分への戒めも込め、そしてセンター長という立場を担うにあたり、2026 年は「公」を何より大切にしていきたいと考えています。



堀江センター長 中野稔



❀センター長就任の意気込みを教えてください

前任の長瀬センター長が古河センターへ異動されたことに伴い、昨年一年間はセンター長代理として当センターを預らせていただきました。

そのような経緯もあり、気持ちの面で過度に気負うことはなく、これまで取り組んできたことを土台に、良い部分はさらに伸ばし、改善すべき点については引き続き改善に注力していきたいと考えています。

❀どんなセンターにしていきたいですか？

誰にとっても話しやすい環境づくりは、今後も大切にしていきたいと考えています。

私自身、若い頃を振り返ると、いつでも気軽に話ができ、しっかりと話を聞いてくれる上司のもとでは非常に働きやすく、センター全体も良い状態で回っていたように感じます。

現場で実際にお客様と接している皆さんから情報を得るという意味合いもありますが、まずは自分自身が、何でも話しやすいセンター長であることが何より大切だと思っています。

❀【歩】の文字に込めた思いを教えてください

堀江センターは若い社員も多く、また QC 部門という専門部署を擁していることから、キャリアや年齢の面においても多様性にあふれています。

仕事に対する思いや取り組むペースは人それぞれ、歩数も大きかったり小さかったりしますが、皆が自分なりのペースで歩いていってくればという思いを込めて、この言葉を選びました。

